

1945年のヴァネヴァー・ブッシュによるmemex (memory extender) や60年代のハイパーテキストなど、人間が膨大な情報を高速・柔軟に閲覧するための研究が数多くなされる一方で、コンピュータとインターネットの普及により、実際に膨大な量の情報が個人の前に現れるようになりました。そして1990年代、ティム・バーナーズ=リーが考案したワールドワイドウェブの登場を境に、コンピュータとネットワークは真に個人の道具として使われるようになり、その後、世界を大きく変えていきました。

- 1980 | 1989 ● CERN(欧州原子核研究機構)のティム・バーナーズ=リーが「World Wide Web」(WWW)を提案。
- 1990 | 1991 ● テキストベースの情報検索システム「Gopher」登場。
● 世界初のウェブサイトがインターネット上に登場。
- 1992 ● NTT、社内で日本国憲法や社内情報等をHTML化。
● 高エネルギー物理学研究所、日本最初のホームページ公開。
- 1993 ● NTT、日本初のポータルサイト「NTTホームページ」(www.ntt.jp)を立ち上げ、英語版・日本語版を公開。
● イリノイ大学のNCSA(National Center for Supercomputing Applications)が画像の表示も可能なブラウザ「Mosaic」を開発。
● NTT、Mosaicの多言語化版「Mosaic-L10N」を発表。
- 1994 ● ティム・バーナーズ=リーを中心にWWW関連技術の標準化を行う「W3C」(World Wide Web Consortium)発足。
- 1995 ● NTT、インターネットによる情報発信「NTT DYNAMIC LOOP INFORMATION」を運用開始。
● NTT、NTTホームページで阪神淡路大震災の情報を提供し注目を浴びる。
● NTTとスタンフォード大学が共同実験としてウェブサイト「Japan Window」を米国西海岸に開設。
● NTT、英語版電話帳「CitySource」をインターネット上に公開。
● NTT、ディレクトリサービス「NTT DIRECTORY」を運用開始。
- 1996 ● NTT、「インターネットタウンページ」の都内23区版の試行サービス提供開始。
- 1997 ● NTTの検索エンジンInfoBeeを活用した日本語検索エンジン「goo」のサービス開始。
● NTTとNTT中央パーソナル通信網、PHSなどの位置情報を利用してインターネット上の情報を検索できる情報提供サービスに関する共同実験「モバイルインフォサーチ実験」を実施。
- 1998 ● NTT、インターネットを通じて全国のタウンページ情報をすべて検索できる「インターネットタウンページ」を全国版で本格サービス開始。
- 2000 | 2000 ● NTTコミュニケーションズ、NTT DIRECTORYの後継として「OCNナビ」を提供開始。